

令和2年度 事業報告

社会福祉法人豊中太陽会

設立認可：平成13年7月16日

(大阪府指令医福第78-4)

所在地：豊中市穂積1丁目9番6号

代表者：理事長 浅尾 利機

法人概要

【法人の沿革】

平成 7 年 4 月	保護者有志の方々により大阪府豊中市島江町において 簡易通所授産施設「セント・ポプリ作業所」開設
平成 13 年 8 月	『社会福祉法人豊中太陽会』創設（H13.7.16 認可） 理事長 池村勝子 身体障害者通所授産施設「セント・ポプリ作業所」（名称変更） 施設長 浅尾利機
平成 14 年 7 月	知的障害者通所授産施設「かるがも広場作業所」を法人傘下へ 所在地 豊中市旭丘 施設長 島井京子
平成 17 年 8 月	「セント・ポプリ作業所」施設長 松 公造 「かるがも広場作業所」施設長 藤岡哲夫
平成 19 年 8 月	『社会福祉法人豊中太陽会』 理事長 浅尾利機
平成 21 年 4 月	障害者自立支援法に伴い 障害福祉サービス事業に移行 名称変更 「セント・ポプリ」「かるがも広場」 事業種別 生活介護・就労継続支援 B 型
平成 25 年 6 月	「セント・ポプリ」施設建設・移転・合併
平成 28 年 1 月	「ぼぷりのいえ」開設（共同生活援助）
平成 28 年 4 月	相談支援事業所 セント・ポプリ開設 ○一般相談支援事業 ○特定相談支援事業 ○障害児相談支援事業
平成 29 年 4 月	「サン・スマイル」開設（セント・ポプリ生活介護の従たる事業所）
平成 30 年 4 月	「サン・スマイル」（拠点として開設）施設長 橋本光子

【理念】

利用される方々の意思を尊重し、安心・安全で笑顔あふれる暮らしができ、充実した生活が送れるように支援します。また、全ての利用者・家族関係者、そして支援者が常に笑顔で過ごせる場所で、社会福祉の中心となるような施設をつくります。

【基本方針】

- ① 利用者ひとりひとりの気持ちを大切にします。
- ② さわやかなあいさつと、清潔な身だしなみを心がけます。
- ③ 専門職としての誇りを持ち、自己研鑽に努めます。
- ④ 地域社会との連携、地域社会への貢献を推進します。

【施設の概要】

セント・ポプリ 生活介護・就労継続支援 B 型 施設長 松 公造
所在地 : 〒561-0856 豊中市穂積1丁目9番6号
連絡先 : TEL06-6862-1001 FAX06-6862-0077
E-mail popuril3@taiyoukai.or.jp

ぽぷりのいえ 共同生活援助 管理者 松 公造
所在地 : 〒561-0874 豊中市長興寺南2丁目3番35号
連絡先 : TEL・FAX 06-7161-8062

相談支援事業所セント・ポプリ 管理者 常田真央
所在地 : 〒561-0856 豊中市穂積1丁目9番6号
連絡先 : TEL06-6862-1002 FAX06-6862-0077

サン・スマイル 生活介護 施設長 橋本光子
所在地 : 〒561-0894 豊中市勝部2丁目18番1号
連絡先 : TEL06-6841-4141 FAX06-6841-4143
E-mail smile30@taiyoukai.or.jp



法人報告

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発出され始まった令和2年度であるが、これまでの施設運営方法や緊急時の体制等について再確認でき、ある意味有意義な年度であったと振り返る。

利用実績に伴い「セント・ポプリ」生活介護利用定員を30名から33名に増員し、「ぼぷりのいえ」については、夜間支援体制を2名配置に変更することが出来た。「サン・スマイル」に関しては、重度障害者支援加算・福祉専門職員配置等加算（Ⅰ）を取得し、さらに常勤看護職員等配置加算も取得することが出来た。いずれの体制も職員補充が順調に進んだ結果であり、有給休暇取得率も各拠点で100%を超える取得を達成することができた。

経営面に関しては、経常増減差額率7.1%、流動比率141.9%、純資産比率81.7%、固定長期適合率95.4%、人件費率72.7%であった。今年度は新施設の建設資金を6,000万円積立てているので、昨年度の指標と比較すると悪化しているように感じるが、指標としては特に問題のない経営状況であったと言える。（別紙 社会福祉法人の経営指標を参照）

穂積二丁目の土地に関しては、現時点（令和3年5月末）で新施設建築の業者入札も終了し、7月には本工事着工の流れで事業が進んでいる。施設概要としては、生活介護20名定員、短期入所12名定員の施設を建設する予定である。

地域貢献事業としては、オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業である「大阪しあわせネットワーク」で大阪府社会福祉協会との連携から地域における生活困窮世帯に対して計5件の経済的援助を行うことができた。引き続き同事業や地域に対するボランティア活動を通じて地域貢献を行っていく。

1. 理事会・評議員会開催状況

日付	会議名	主な決議内容
令和2年6月3日	第1回理事会	事業報告・決算
令和2年6月19日	第1回定時評議員会	決算
令和2年9月14日	第2回理事会	新施設建設に伴う随意契約
令和3年2月22日	第3回理事会	事業計画・予算・融資計画
令和3年3月10日	第2回評議員会	事業計画・予算

2. 協議会開催状況

日付	会議名	主な決議内容
令和2年5月21日	第1回運営会議	理事会前議案検討
令和2年7月31日	第2回運営会議	新施設建設の打合せ・報告
令和2年9月9日	第3回運営会議	理事会前議案検討
令和2年10月20日	第4回運営会議	新施設建設の打合せ・報告
令和3年2月4日	第5回運営会議	理事会前議案検討

施設名	セント・ポプリ		相談支援事業所 セント・ポプリ	ぽぷりのいえ	サン・スマイル	
事業種別	生活介護	就労継続 支援 B 型	一般・特定 障害児	共同生活 援助	生活介護	
定員	33 名	10 名	—	4 名	20 名	
職員数 (内非常勤)	管理者	1	1	1	1	
	施設長	1	—	—	1	
	サビ管	1	—	1	1	
	生活支援員	26 (20)	1	—	5 (5)	13 (4)
	職業指導員	—	1 (1)	—	—	—
	相談支援員	—	—	2 (1)	—	—
	世話人	—	—	—	6 (6)	—
	運転手	13 (生活支援員と兼務 12)		—	—	9 (2)
事務員	3 (2)		—	1 (1)	1 (1)	
嘱託医	医師	彭 英峰 彭 作進	—	—	—	彭 英峰 彭 作進
	看護師	楠田 久恵	—	—	—	楠田 久恵
	機能訓練 指導員	船越登紀夫	—	—	—	船越登紀夫
敷地面積		479.50 m ²		100.55 m ²	—	
建物	構造	鉄骨造合金メッキ鋼板葺 ・陸屋根 3 階建		木造スレート葺 2 階建	木質 ^ハ 桧 ^ニ 構 造 1 階建	
	延床面積	681.41 m ²		111.31 m ²	189.635 m ²	

各施設報告

【セント・ポプリ】

1. 月別利用者数（延べ人数） 定員 33 名 障害支援区分 区分 3～6

生 活 介 護	区分	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合計
	4 月	90 人	179 人	113 人	383 人	765 人
	5 月	100 人	184 人	117 人	382 人	783 人
	6 月	101 人	200 人	126 人	383 人	810 人
	7 月	121 人	192 人	126 人	374 人	813 人
	8 月	97 人	175 人	113 人	349 人	734 人
	9 月	100 人	190 人	103 人	389 人	782 人
	10 月	106 人	198 人	110 人	400 人	814 人
	11 月	107 人	187 人	101 人	386 人	781 人
	12 月	108 人	193 人	105 人	405 人	811 人
	1 月	106 人	180 人	96 人	376 人	758 人
	2 月	86 人	233 人	97 人	379 人	795 人
	3 月	103 人	263 人	109 人	411 人	886 人
	合計	1,225 人	2,374 人	1,316 人	4,617 人	9,532 人

月別利用者数（延べ人数） 定員 10 名 障害支援区分 該当なし～区分 4

就 労 継 続 支 援 B 型	区分	該当なし	区分 2	区分 3	区分 4	合計
	4 月	65 人	37 人	35 人	45 人	182 人
	5 月	61 人	56 人	36 人	46 人	199 人
	6 月	66 人	52 人	37 人	45 人	200 人
	7 月	59 人	40 人	32 人	46 人	177 人
	8 月	62 人	31 人	34 人	42 人	169 人
	9 月	60 人	22 人	36 人	43 人	161 人
	10 月	79 人	22 人	35 人	45 人	181 人
	11 月	81 人	20 人	31 人	45 人	177 人
	12 月	85 人	18 人	32 人	45 人	180 人
	1 月	62 人	3 人	30 人	43 人	138 人
	2 月	21 人	13 人	31 人	40 人	105 人
	3 月	23 人	34 人	38 人	43 人	138 人
	合計	724 人	348 人	407 人	528 人	2,007 人

2. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

計画	報告
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意思を尊重し笑顔で過ごせるように、支援者が意見交換を行い様々な支援を創出します。 ・情報を共有して職員一丸となり支援の質と向上に取り組みます。 ・職員が笑顔で働ける職場作りに取り組みます。(離職者ゼロ目指す) ・人事考課制度の活用と運用を行います。 ・内外の研修に参加し人材(人財)育成に取り組みます。 ・来年度利用者受け入れを整備する。(3名目標) ・リスクマネジメントの取り組み。(災害対策、施設活動時、感染予防送迎、虐待防止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意思を尊重できるように、職員間で情報を共有して支援の質と向上に取り組んだ。 ・職員面談の実施、新人研修マニュアルを作成して活用、働きやすい職場環境作りに取り組んだ。 ・自己研鑽として、外部研修(リモート)、内部研修(サポカレ動画視聴)に取り組んだ。 ・スキルアップ評価を行い、仕事の評価又アドバイスを行い、人材育成につながる取り組みができた。 ・年度途中で2名の利用者を受け入れし、令和3年度は豊中支援学校1名、箕面支援学校1名の新規利用者の受け入れを決定した。 ・コロナウイルス感染症対策として、手洗い、手指消毒、換気、マスク着用、場面に応じた対策を講じました。

3. 目標・計画の具体的な項目と取組結果

項目	計画	報告
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者がたくさんの活動と経験を通して、充実した日々を過ごす様に取り組む。(月間、週間、1日のプログラムの計画作成) ・連絡帳に個別支援計画・強度行動者手順書をファイリングし、計画を基に目標達成に向け取り組む。(個別支援計画・強度行動障害支援計画を6か月毎に見直す。) ・バイタルチェックを行い健康管理に努める。(毎日の体温測定、月1回の体重測定、医師・看護師の月1回ずつの検診) 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策に取り組み、活動を提供させて頂きました。(例:1Fと2Fフロアごとでの活動・外部店舗等への出入りを控えた。) ・閲覧ボードを用意し、活動内容を可視化することで、充実した活動プログラムを計画・実行できた。 ・個別支援計画を職員間で共有し、日々確認しながら、利用者支援に取り組んだ。 ・自宅での検温、通所後の検温を行い、健康管理に取り組んだ。

	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議、主任会議、フロア会議を行い新たな取り組みや改善を行う。(月1回ずつ) ・火曜と木曜の終礼時に小グループで15分ミーティングを行い、支援と業務改善に活かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア毎で朝礼時と終礼時に打ち合わせを行い、業務改善に取り組んだ。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・身体面の機能維持・向上に向け、リハビリや体を動かす活動に取り組む。 (日課のラジオ体操と散歩、月2回のリズム体操・音楽レクリエーション、月1回のスポーツ活動) ・生産活動月收入5万円を目標に、大きな柱として新たに農業事業に取り組む。(他、さくらづか保育園の砂おこし、軽作業、ポストイングバザー販売、リサイクル品回収など) ・口腔ケアすまいるの協力を得て、新たな活動の開拓に取り組む。 ・年間行事と外食等(年3回)の楽しみも取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・機能訓練では、日々のケアを行い、体の可動域が改善できた。 ・内職軽作業では、自助具を活用し、生産効率に取り組めた。 ・生産活動ではコロナの影響で収入にも影響があったが、新たな取り組みとしてエコバックを作製販売、なかまの店の出店、口腔ケアすまいるの協力を頂き野菜販売等を行い工賃収入の維持ができた。 ・行事は、施設内で感染予防に努めながら、取り組める範囲で行う事ができた。(6月ポプリフェス、11月秋祭り、12月クリスマス会等) ・外食に代わる取り組みとして、テイクアウトをし、利用者に楽しい昼食時間を提供できた。
研修計画	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修(年2回)、虐待防止研修(年3回)を行う。 ・新人・中堅・リーダー、主任以上の階層別の研修計画を立て、人材育成と研鑽に取り組む。 ・オンライン研修を毎週月曜日の終礼時を活用して開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修、虐待防止研修を行い、利用者支援の質と向上に取り組んだ。 ・外部の階層別の研修には、出来る限り参加した。 ・サポーターズカレッジの動画研修を行い、学ぶ機会を設けた。
保護者との交流を深める	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との交流を深める機会を作る。 ①ポプリのイベントに保護者も参加して頂く。(年3回) ②バザー等のお手伝いに協力して頂く。(福祉の店「なかま」の店当番) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方に施設に来て頂く機会が減った為、日々の連絡帳や送迎時での対応を大切にし、また在宅支援で電話連絡をする機会が増えたことで、保護者と交流を深める事ができた。

職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ・ 離職防止の為、全職員に面談を行い、働きやすい職場作りに取り組む。 (施設長と所長が毎月実施) ・ 急な欠勤職員が出て日中の対応ができる勤務体制を組む。 (1 か月半前に調整) ・ 年 5 日以上の年次有給休暇取得に向け、6 月・9 月・12 月に取得日数を 確認して未取得者への取得を調整する。 ・ 年 1 回の健康診断 (5 月) とインフルエンザ予防接種 (11 月) を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 離職防止の取り組みとして、職員面談を行い、話を聞ける機会を設け、働きやすい職場環境と風通しの良い職場作りに取り組んだ。 ・ 有給休暇取得率は 111.3% だった。年 5 日以上の有給休暇取得はできたが、体調不良での取得者が多かった為、より計画的に取得させることが課題。引き続き取得率 100% を目指していく。
リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者家族との面談の中で意見をうかがい信頼関係構築に取り組む。(3 か月に 1 回) ・ 虐待防止委員会を中心に会議を開催し、虐待防止に取り組む。 (5 月、9 月、1 月) ・ 重大事故防止の為、ひやりハット報告の収集と活用を行う。 ① 事故防止会議を開催する。 (4 月、8 月、12 月) ② 毎月の職員会議でひやりハットの報告と確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自傷、他傷、事故があった場合は保護者に速やかに状況説明と謝罪を行い、再発防止策の説明を行い信頼回復に努めた。 ・ 事故、ヒヤリハット報告から具体的な再発防止策を検討し取り組んだ。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設より CSW を派遣して「大阪しあわせネットワーク」の生活困窮レスキュー事業に取り組む。 ・ 災害発生時に大阪災害派遣福祉チーム (大阪 DWAT) として派遣要請に協力できるように体制を整備する。 ・ 地域清掃を毎週水曜日に行い、美化環境に取り組む。 ・ 自治会のイベント (8 月)、もちつき (12 月) に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪しあわせネットワークは 3 件の案件に係ることが出来、2 件は終結に至った。1 件は継続中。 ・ DWAT に関しては、出動要請はなかったが、派遣要請に備える連携を取り合った。 ・ 自治会イベントは全て中止になったが、地域清掃をはじめ、挨拶等を行い地域との繋がりを大切にしました。

4. その他特記事項

- I. 非常災害時に備え避難訓練の実施（9月・1月）と非常食の管理（3月）を行った。
避難場所、連絡網（さくら連絡網の活用）の確認と見直しを行った。（2月）
- II. 毎月の職員会議と随時、必要な備品や感染症対策の備品を確認し購入した。
- III. 人事考課・評価訓練の活用 ⇒ 9月・2月
- IV. 就労における工賃の確保と具体策 ⇒ エコバック、ストラップ等の新商品を作製販売
に取り組めた。

【相談支援事業所セント・ポプリ】

1. 計画相談(障害者・児)・一般相談 月別実施状況

令和2年度 月別利用者状況	月	モニタリング件数	計画作成件数	基本相談件数	合計
	4月	19件	6件	32件	114件
	5月	19件	3件	31件	106件
	6月	22件	5件	40件	134件
	7月	17件	4件	48件	138件
	8月	20件	5件	44件	138件
	9月	20件	9件	68件	194件
	10月	14件	8件	69件	182件
	11月	24件	8件	34件	132件
	12月	20件	3件	49件	144件
	1月	21件	8件	47件	152件
	2月	20件	6件	37件	126件
	3月	24件	12件	35件	142件
	合計	240件	77件	534件	851件

2. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

計画	報告
<p>1、豊中太陽会の施設を利用させていただいている利用者を中心に、同法人の各サービス管理責任者や関係機関と情報共有を行い、利用者ひとりひとりのニーズに応じた、丁寧な計画相談支援を提供していく</p> <p>2、豊中太陽会の施設を利用していない方に対しても、それぞれが利用されている事業所や関係機関と連携を取りながら、本人及び家族が安心して暮らしていけるように、上記同様の計画相談支援を提供していく</p> <p>3、相談支援事業所として当相談支援事業所と契約を交わしていない利用者に対しても、引き続き個別相談や、状況に応じて関係機関との連絡調整、各種手続きなどの支援を行う</p>	<p>1、概ね予定通りモニタリング、サービス等利用計画支援を提供することが出来た。予定外の部分では、急遽の計画相談作成依頼や、その他様々な生活全般の相談に関してもその都度、支援、対応することが出来た。</p> <p>2、外部の利用者に対しても1と同じサービスを提供した。その中でも特に隣人トラブルから引っ越しを終えるまでの相談にはかなりきめ細やかな支援を提供した。</p> <p>3、1、2と同様に、サービスの質を変えることなく支援を提供した。 具体的には、 1) ヘルパー事業所の紹介、取り次ぎ。 2) 福祉事務所との連携により課題解決。 3) セルフプラン作成の手伝い等。</p>

3. 目標・計画の具体的な項目と取組結果

項目	計画	報告
支援内容	<p>障害者（児）の抱える、短期、中期、長期のそれぞれの課題解決に向けての相談や、関係機関との連携、連絡調整などを行い、障害者（児）の自立した生活を支えるための支援を提供していく。</p>	<p>モニタリングやアセスメントを通じ顕在した課題に対して、相談援助と課題解決を行った。解決に向けての連携機関としては、主に、医療機関、ヘルパー事業所、豊中市、グループホーム、福祉事務所など。</p>
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生活全般の相談 ・相談支援専門員によるアセスメント ・サービス等利用計画の作成 ・モニタリングの実施 ・利用者、その他からの相談や苦情に関する対応 	<p>主に、サービス利用計画作成とモニタリング、サービスの利用調整。その他、一般相談から顕在化した課題を抽出し、助言、提案を必要に応じて行った。具体的には、隣人トラブル、引っ越し、利用者・保護者と事業所とのトラブル仲介、苦情解決と報告など。</p>
研修計画	<p><随時各年一回程度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止、権利擁護、意思決定支援、各障害の特性等の人権及び障害の理解の研修 ・福祉制度の理解、社会資源の情報と活用方法、関係機関との連携強化方法等の相談援助に関わる情報の研修 <p>※臨時として、上記内容の研修が受講できなかった際に、オンライン研修「サポカレ」を通して必ず年一回程度は受講する</p>	<p>【受講研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談における基本的態度と心得 ・共生・福祉のまちづくり研修会「地域共生社会の実現に向けて」 ・児童虐待、障害者虐待研修 ・意思決定、権利擁護研修 ・親なきあとへの備えについて ・重度「知的障害」者と呼ばれる人々へのコミュニケーション支援に関する一研究 <p style="text-align: right;">他。</p>
地域貢献	<p>相談支援事業所として法人内の各事業所と協力し、地域の中で生活する障害児・者に対して、個別相談や社会資源の紹介、連絡調整、各種手続きのサポートなどを行う地域の窓口として責務を果たしていく</p>	<p>障害福祉課と基幹相談センターから相談を受け、その方の課題解決を行った。具体的には日中活動事業所の紹介と契約締結、サービス利用調整など。</p>

4. 相談支援・障害別利用者契約状況の報告

1) 障害別利用契約者数の前年対比

平成31年度 利用契約者数(実績)				令和2年度 利用契約者数(実績)			
知的障がい者	43名	難病対象者	0名	知的障がい者	48名	難病対象者	0名
身体障がい者	2名	(男性利用者)	28名	身体障がい者	1名	(男性利用者)	31名
精神障がい者	2名	(女性利用者)	19名	精神障がい者	3名	(女性利用者)	21名
障がい児	0名	合計利用者数	47名	障がい児	0名	合計利用者数	52名

全体の利用契約者数は令和元年度 47 名から令和 2 年度 52 名と 5 名の増加となった。

2) 平成 31 年度 1 年間の契約者増加の詳細報告

①新規契約者数 6 名

②解約者数 1 名

<①新規契約者について>

- ・近隣在住者からの直接の支援依頼 2 名
- ・セント・ポプリ（生活介護）利用者の保護者からの依頼 3 名
- ・障害福祉課からの懇願 1 名

<②解約者について>

- ・65 歳到達における障害福祉サービスの利用終了及び、介護保険利用移行のための解約 1 名
(ケアマネ、ヘルパーへの移行手続きなどの引継ぎを経て終了)

5. 総括と今後について

昨年 1 月より 1 名体制だったが、同年 12 月より 1 名増員、相談支援専門員 2 名体制となった。(専任 1 名、兼務 1 名) これにより、今後の利用契約者に関しては今までと変わらず、若干名受け入れることが可能となった。次年度も最大 5 名程度の利用契約数増加を念頭に置き、活動していく。また、状況に応じて、未契約による一般相談という形での、障害者の相談援助や支援は今後も変わらず継続して行っていく。

【ぼぶりのいえ】

1. 月別利用者数（延べ人数） 定員 4 名 障害支援区分 区分 4～6

生 活 介 護	区分	4	5	6	合計
	4月	52人	26人	25人	103人
	5月	44人	23人	22人	89人
	6月	52人	26人	26人	104人
	7月	47人	25人	25人	97人
	8月	43人	23人	23人	89人
	9月	47人	24人	23人	94人
	10月	54人	27人	27人	108人
	11月	48人	24人	25人	97人
	12月	46人	23人	23人	92人
	1月	44人	22人	22人	88人
	2月	47人	24人	24人	95人
	3月	48人	27人	27人	102人
	合計	572人	294人	292人	1,158人

2. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

計画	報告
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意思を尊重し、将来を展望している事を継続し、出来る事にチャレンジできる支援に取り組みます。 ・個別支援計画を基本に生活リズムを大切に、健康に笑顔で過ごせるよう、食事・入浴・排泄などの介助と夜間支援を行う。 (サービス提供記録に支援計画を常時閲覧できるようにします。) ・バイタルチェックを行い健康管理に努める。 (毎日の体温測定、週1回の体重測定) ・GHリーダーを中心に月1回の会議を行い、支援の方向性を共有します。 (月1回開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画を基本とし、利用者の意思を確認し、保護者とも連携を取り、安心、安全に過ごしていただけるように取り組みました。 ・GHリーダーを中心に、会議を毎月行い、支援の方向性や業務改善の意見交換を図りました。 ・利用者の健康面に関しては、バイタルチェックを行い、また必要であれば医療機関への連携、通院等のサポートを行いました。

3. 目標・計画の具体的な項目と取組結果

項目	計画	報告
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の意思を尊重し、将来を展望している事を継続し出来る事にチャレンジできる支援に取り組みます。 ・個別支援計画を基本に生活リズムを大切にし、健康に笑顔で過ごせるよう、食事・入浴・排泄などの介助と夜間支援を行う。 (サービス提供記録に支援計画を常時閲覧できるようにします。) ・バイタルチェックを行い健康管理に努める。(毎日の体温測定、週1回の体重測定) ・GHリーダーを中心に月1回の会議を行い、支援の方向性を共有します。(月1回開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防対策に重点的に取り組み、利用者の健康面に気をつけ、変化があれば保護者、病院等への連携を行った。 ・外出の機会が減ったが、近隣散歩等を取り入れ、リフレッシュができた。 ・GHリーダーを中心に業務改善に取り組み、支援の方向性も会議で検討して支援を行った。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家事の手伝い、食器の片付け、掃除などできることは意思確認を行い取り組んでもらいます。 ・楽しみとしての外食(月1回)を行います。 ・季節毎に行事を行い楽しく過ごして頂きます。 (誕生日会、ハロウィン、クリスマス会など) ・買い物(週1回以上)、ドライブ(月2回)など外に出る場面を作り様々な経験をして頂きます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限り利用者の意思確認を行い、身の回りの事や家事の準備片付け等に取り組んで頂きました。 ・食事の際、感染予防の為にリビングと居室に別れて食事をとって頂きました。 ・月1回程度、テイクアウト行い利用者に楽しい夕食時間を提供できました。 ・行事は、感染予防に取り組み誕生日会、ハロウィン、クリスマス会を実施しました。
研修計画	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修、虐待防止研修、人材育成研修(年2回) ・グループホームに特化した研修を全職員が受講する。(年2回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権研修、虐待防止研修を行い、利用者の権利擁護、利用者支援の質の向上に取り組んだ。 ・外部の世話人研修に参加した。 ・新人職員の勤務マニュアルを作成し、働きやすい職場環境作りに取り組んだ。

職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ・ GH 勤務重視の職員への給与面の見直しを含め、勤務職員の確保に取り組めます。 (夜間勤務者 4 名確保) ・ 勤務体制を調整し、夜間等で欠勤職員が出ても対応きる勤務体制を組む。 (1 か月半前に調整) ・ 年 5 日以上有給休暇取得に向け計画的に勤務体制を整える。 (6 月・9 月・12 月に取得を確認して未取得の方と調整・相談) ・ 年 2 回 (5 月・11 月) の健康診断を行う。(夜間勤務者) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 勤務者の確保については、2 名の職員を中心に、総勢 21 名の職員で勤務しました。 ・ 職員の健康診断、勤務前検温を行い、体調管理に努めました。 ・ 事前に交代職員を決めておくことで、欠勤時に対応する事が出来ました。
リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者家族との面談の中で意見をうかがい信頼関係構築に取り組む。(6 か月に 1 回) ・ 虐待防止委員会中心に(5 月、9 月、1 月) 会議を開催し、虐待防止に向け取り組む。 ・ 重大事故防止の為、ひやりハット報告の収集と活用を行う。 ① 事故防止会議を開催する。 (4 月、8 月、12 月) ② 毎月の GH 会議でひやりハットの報告と確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者会を行い、365 日開所に向けての取り組み等意見を交換する事ができました。 豊中市の GH 担当職員の方にも入って頂き、GH の現状報告と市に対する要望をお伝え致しました。 ・ 誤薬防止の為、服薬チェック体制を改善しました。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣の方へのあいさつ運動を行う(毎日) ・ 自治会と連携を図り、地域行事への参加し繋がりを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣の方とは、あいさつを励行し繋がりを大切にしました。 ・ 近隣周辺の掃除を行いました。

4. その他特記事項

- ・ 非常災害時に備え避難訓練の実施 (9 月・1 月)
- ・ 毎月のグループホーム会議で必要な備品、感染症対策用品を確認し購入しました。

【サン・スマイル】

1. 月別利用者数（延べ人数） 定員 20 名 障害支援区分 区分 4～6

生 活 介 護	区分	4	5	6	合計
	4月	22人	164人	184人	370人
	5月	23人	191人	186人	400人
	6月	23人	187人	184人	394人
	7月	23人	186人	178人	387人
	8月	22人	175人	171人	368人
	9月	23人	175人	182人	380人
	10月	23人	164人	175人	362人
	11月	23人	162人	185人	370人
	12月	23人	179人	185人	387人
	1月	22人	176人	177人	375人
	2月	22人	177人	173人	372人
	3月	23人	184人	176人	383人
	合計	272人	2,120人	2,156人	4,548人

2. 本年度重点的に取り組んだ目標・計画

計画	報告
<ul style="list-style-type: none"> ・主任、フロアリーダーを中心に、円滑な職員間の連携に努め、質の高い利用者支援に取り組む。 ・個別支援計画を職員全員が周知し統一した支援を目指す。 ・内外の研修及び講習会等に積極的に参加し自己研鑽に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の個性、職員の個性等を把握し、より良い支援に取り組む事が出来た。 ・モニタリングの報告や個別支援計画の閲覧がいつでもできる様にし、統一した支援を目指す事が出来た。 ・コロナ禍で、対面研修は、ほとんど中止となった。今後は、オンライン研修等(Zoom)で自己研鑽に努めていきたい。 <p>施設内でのオンライン研修（Zoom）が難しいので、工夫をしていきます。</p>

3. 目標・計画の具体的な項目と取組結果

項目	計画	報告
支援内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活介護らしい身近ケアを中心とした、個々のニーズに応える支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスが感染拡大する中、感染リスクが高いと言われていた入浴サービスにおいては、対策を徹底し、個々のニーズに全て応える事が出来た。
支援者の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> オンライン研修を活用し、職員の知識の向上に努める。 施設外の研修及び講習会等に参加し、知識・技術・経験を積み、支援に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> オンライン研修（サポーターズカレッジ）の曜日を決めて取り組む予定でしたが、職員が揃う機会が少なく、計画より少ない回数の視聴となった、今後は職員個別の計画を立て、知識を積み上げて支援に生かしていきます。 施設外での研修等はコロナ禍で機会が少なかった。コロナが終息し機会があれば、積極的に参加します。
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 担当職員が利用者、保護者よりニーズの聞き取りや支援の経過相談をする事で、信頼関係の構築・連携の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への電話連絡は今までに経験の少ない状況下だったが、コロナ禍で連絡する機会が多く、色々な話が出来、コミュニケーションが取れて信頼関係が深まった。
職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> 年次有給休暇を確実に取得できる、職場環境作りに努める。 45分休憩を確実に取れるように継続、職場の構造化を実施する。 人事評価制度を取り入れ、職員のモチベーションを上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 有給休暇取得率は103.5%だった。年次有給休暇を確実に取得する事が出来た。引き続き取得率100%を目指していく。 45分休憩は定着し、イレギュラーなプログラム以外は、確実に取れている。 評価制度訓練中、評価する側もされる側も、職務の質を上げる、モチベーションを上げる事に努めた。 <p>評価面談以外に5月と11月にフロアリーダーが各職員と個人面談を行いコミュニケーションと信頼関係の構築に努め、風通しの良い職場環境作りに努めた。</p>

<p>地域貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原田小学校校区のイベント『ふれあい広場』や『地域運動会』に参加、貢献できる範囲を今後も広げる。 ・豊中市内の小学校での『夏祭り』に出店。お祭りの設営や片付け等に貢献する。 ・自治会の『お餅つき』に参加する。 ・買い物難民地域での支援、活動に取り組む。 ・大阪 DWAT（大阪府災害派遣福祉チーム）派遣依頼があれば、できる限り速やかに活動に参加する。 ・大阪しあわせネットワーク（生活困窮者レスキュー事業）社会福祉法人の使命として、課題に向き合い、積極的に地域貢献事業に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、全てのイベントが中止となった。 ・赤い羽根共同募金寄付付き商品販売に参画することができ、手作りマスクやエコバック等を販売することが出来た。勝部町会「勝寿会」からもマスク購入の依頼があった。 ・大阪 DWAT は、机上でのシミュレーションに参加は出来たが、実際の派遣依頼はなかった。 ・大阪しあわせネットワークは 2 件の案件に係ることが出来、終結までに至った。コロナ禍で生活困窮者が増加しているようです、少しでも貢献できるように今後も努めていきます。
-------------	---	--

4. その他特記事項

※防災用品として、保存水を 72L 購入しました。